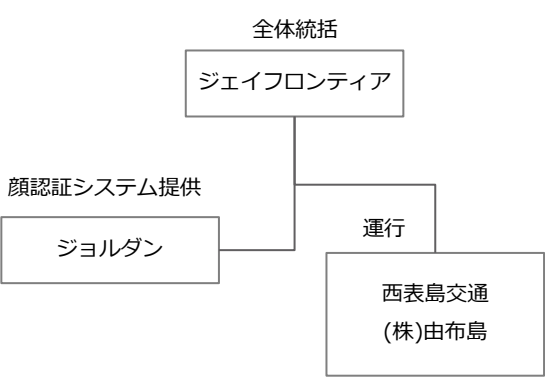


課題	● 西表島島内の路線バスにおける、現金收受、MaaSアプリ等デジタルチケット乗車、クレジットカード決済等の支払手段の多様化に伴う乗降時間の長期化 ● 現行のキャッシュレスでの利用困難な高齢者、子どもへの支払手段の確保
プロジェクト概要	[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)] ● 西表島の路線バスに顔認証システムを導入し、新たな運賃收受手段としての有効性および乗降時間の短縮効果の検証と、クレジットカードやスマートフォン等のデジタル端末を保持できない層への移動をサポート、全てのユーザーが利用可能なキャッシュレス対応を実現するとともに、路線バスと水牛車の共通利用券を造成し、シームレスな利用体験を提供する。 [モビリティ・データの取得と活用] ● これまで取得が困難であった高齢者、子どもの利用データを顔認証での認証によりODデータの取得を可能にする。 [地域交通政策等との連携] ● 高齢者向けお出かけサポート促進、小中学生向けの通学目的での路線バス利用等、島内の移動手段の確保、拡充等の施策検討にあたり、本取り組みによるODデータの取得により、町民全体での利用状況の把握を実現する。
効果	● 現行のキャッシュレスの仕組みを利用できない層への本システムの導入による利便性の向上および路線バスの利用促進 ● MaaSアプリ等では取得できないユーザー層のODデータの取得
事業の新規性	■ 利便性向上のために導入推進されてきた現金以外の運賃收受手段を利用できなかった層に対し、キャッシュレスでの利用を提供するとともに、これまでODデータの取得が困難であった層の利用状況を顔認証システムによる認証によって顕在化させる

事業エリア/交通事業(予定)	事業エリア:竹富町(西表島) バス:西表島交通株式会社 水牛車:株式会社由布島
MaaSアプリ等	● 顔認証システム:Jorudan Style Point&Pass ● ODデータ:現行システムの改修について確認中
データの活用等	■ データの取得方法:顔認証システムによる認証結果、ODデータ作成 ■ データの活用方法:本システムでのODデータにより、高齢者、子ども等の利用状況を顕在化させ、施策検討にあたっての基礎データとして活用を行う。
座組	スケジュール



11月 要件定義
11月～1月 システム開発
2月 実証運行
2月～3月 効果測定